

これで
いいの？

小・中学校の就学援助
八幡市の入学準備金

入学前どころか
12校中5校で支給大幅遅れ

入学前に支給されない事例続出

日本共産党八幡市議団は、八幡市と教育委員会にたいし、就学援助制度の入学準備金について入学前の2～3月に繰り上げて支給するよう求めてきましたが、新たに、市内12の学校(8小学校、4中学校)のうち5校で、家庭への支給が大幅に遅れ、入学準備金が「学校預かり」となっており、支給時期が年度の前期、後期終了時期に支給されていることが明らかになりました。他の7校では今年度、5月に支給されています。

低所得者への義務教育支援としておこなわれる就学援助は学用品費、修学旅行・校外活動費などが支給されますが、なかでも入学準備金はランドセルやカ

バン、制服などの購入費用を助成するものです。この入学準備金の支給時期を入学後ではなく、入学前に支給する自治体が広がり、文部科学省もそれを促す通達を出しています。

入学準備の趣旨にそぐわない

今回八幡市で明らかになった入学準備金の大幅な支給遅れは、入学準備金の趣旨にそぐわない運用です。

日本共産党市議団は、八幡市・教育委員会が、こうした支給遅れの詳細を明らかにし、直ちに改善すること、また全国で広がっている入学前の支給について具体化を急ぐよう強く求めます。

市内介護施設を調査

日本共産党八幡市議団

日本共産党八幡市議団は8月に介護施設などを訪問・聞き取り調査しました。訪問したのは、老人保健施設・梨の里、特別養護老人ホーム・あんしんサポートハウスYMBT、サービス付き高齢者住宅テレザートさくら。

それぞれの施設での入所状況などをお聞きしました。梨の里、YMBTでは入所



写真は、施設内のダイニング(左)、浴室(右)

施設に加えて地域での訪問看護などによりくんでおられます。またテレザートさくらでは、低所得者への負担軽減の努力もお聞きし、短期間の入所利用が増えていることなどもお聞きしました。